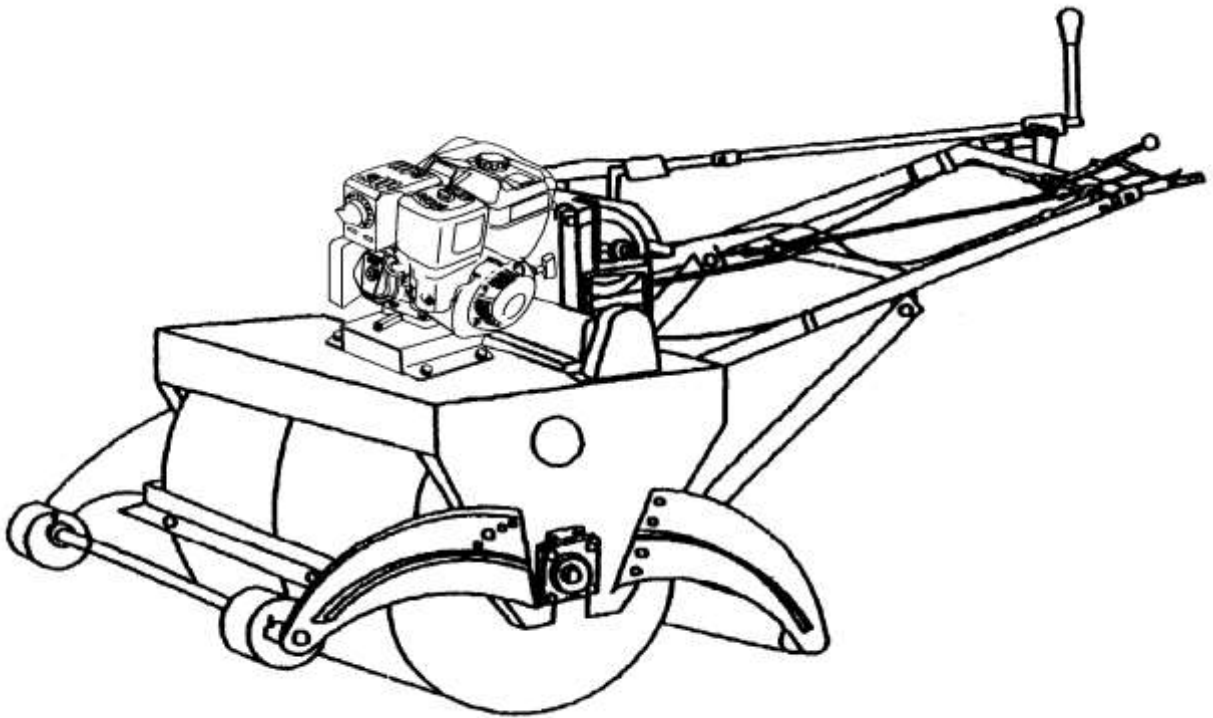


# 取扱説明書

MODEL

# SGR-100B



**株式会社IHIアグリテック**

長野県松本市石芝 1-1-1

TEL 0263(88)0200 FAX 0263(27)03800

# グリーンローラーをお買い上げ頂き、 ありがとうございます。

この取扱説明書は、グリーンローラーの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取り扱い頂き、最良の状態でご使用ください。

- ・ お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- ・ 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- ・ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承下さい。
- ・ ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店にご相談下さい。
- ・ 通常のご使用で、万一故障・破損等が発生した場合は、その状態のまま販売店にご相談ください。お客様で分解等をなされた場合、保証期間内であっても保証ができない場合があります。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- ・ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。使用前に必ずお読み下さい。
- ・ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の販売店にご注文下さい。

## 目次

1. 安全に作業をするために	3
2. 特徴	9
3. 仕様	9
4. 新車の扱い	9
5. 運転	10
5-1 各部の名称	
5-2 エンジンスタート、ストップ	
5-3 発進方法	
5-4 作業手順	
5-5 特殊作業	
5-6 作業上での注意	
5-7 機械を離れるときの注意	
6. 保守・点検	12
6-1 メンテナンスの注意	
6-2 始業点検	
6-3 各部の調整方法	
6-4 長期保管時の注意	

# 1. 安全に作業するために

ここで記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じる恐れがあります。

## ・ 一般的な注意事項



### 警告 排ガスには十分に注意する

締め切った屋内などではエンジンを始動しないで下さい。エンジンは、風通しのよい屋外で始動して下さい。やむを得ず屋内で始動する場合は、十分に換気をして下さい。

【守らないと】

排ガスによる中毒を起こし、死亡事故に至る恐れがあります。



### 警告 こんな時は運転しない

- ・ 過労・病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- ・ 酒を飲んでいるとき
- ・ 妊娠しているとき
- ・ 18歳未満の人



### 警告 作業に適した服装をする

はち巻き、首巻き、腰タオルは禁止です。滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきの無い服装をして下さい。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒する恐れがあります。



### 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導して下さい。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねく恐れがあります。



### 警告 目的外使用の禁止

本機はグリーンの芝を押さえる事を目的に設計、開発されていますので、それ以外の目的で使用される場合、機械の安全に関して保証できませんので、注意して下さい。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねく恐れがあります。



### 注意 マフラの高温に注意

運転中およびエンジン停止直後の、マフラは高温ですので、触れないで下さい。

【守らないと】

やけどをする恐れがあります。



### 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないで下さい。  
改造をしないで下さい。

【守らないと】

事故、ケガ、機械の故障をまねく恐れがあります。



### 注意 点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をして下さい。特に、ハンドル・ブレーキ・レバーなどの操縦装置及び車輪などの走行装置は、確実に作動するように点検・整備して下さい。

【守らないと】

事故、ケガ、機械の故障をまねく恐れがあります。

#### ・作業前後の確認時、格納時の注意項目



### 警告 注油、給油はエンジンが冷めてからおこなう

エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に注油、給油しないで下さい。

【守らないと】

燃料などに引火して、火災をおこす恐れがあります。



### 警告 燃料補給時は火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明は絶対にしないで下さい。

【守らないと】

燃料などに引火して、火災をおこす恐れがあります。



### **警告 燃料漏れに注意**

燃料パイプが破損していると、燃料漏れを起こしますので必ず点検して下さい。

【守らないと】

火災事故を引き起こす恐れがあります。



### **警告 燃料キャップをしめ、こぼれた燃料はふき取る**

燃料を補給したときは、燃料キャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいに拭き取って下さい。

【守らないと】

火災事故を引き起こす恐れがあります。



### **警告 点検整備は平坦で安定した場所でおこなう**

機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、前輪には車止めをして点検整備をして下さい。

【守らないと】

機械が転倒すると、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



### **警告 マフラ・エンジン回りのゴミは取り除く**

マフラやエンジン周辺部に、刈り草・ゴミ・燃料などが付着していないか、毎日作業前に点検して下さい。

【守らないと】

火災事故を引き起こす恐れがあります。



### **警告 ブレーキ・ハンドルの点検を必ずおこなう**

ブレーキの効きが悪かったり、片効きが無いように、またハンドルに著しいガタや遊びが無いように、点検して下さい。

【守らないと】

事故を引き起こす恐れがあります。



### **注意 点検整備中はエンジン停止**

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止して下さい。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



### **注意 カバー類は必ず取り付ける**

点検・整備などで取り外したカバー類は必ず取り付けて下さい。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



### **注意 点検整備は過熱部分が充分冷めてからおこなう**

マフラーはエンジンなどの過熱部分が充分に冷めてから点検整備をして下さい。

【守らないと】

火傷をする恐れがあります。



### **注意 目的に合った工具を正しく使用する**

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合った工具を正しく使用して下さい。また点検に必要な工具はグリーンローラに常備しておいて下さい。

【守らないと】

整備不良で事故を引き起こす恐れがあります。

#### ・ 作業機に関する注意事項



### **警告 機械の下にもぐったり、足を入れない**

グリーンローラの下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで下さい。

【守らないと】

傷害事故を負う恐れがあります。



### **警告 強度・長さ・幅の充分あるあゆみ板を使う**

積み込み、積み降ろしをするときは、平坦で安全な場所で、トラックのエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛け車止めをして下さい。使用するあゆみ板は幅・長さ・強度が十分にあり、スリップのしないものを選んで下さい。

【守らないと】

転落事故を引き起こす恐れがあります。



### **警告 登るときは前進、降りるときは後退でおこなう**

トラックに積み込む時は前進で、降りるときは後進でおこなって下さい。

【守らないと】

バランスを崩し、転落事故を引き起こす恐れがあります。



### **警告 ロープでトラックに確実に固定する**

トラックに乗せて移動するときは、駐車ブレーキを掛け、強度の十分にあるロープでトラックに固定させて下さい。

【守らないと】

荷台からグリーンローラが転落して事故を引き起こす恐れがあります。



### **警告 急な発進、停止、旋回やスピード出しすぎ禁止**

発進・停止はゆっくりとおこなって下さい。旋回をするときは、十分スピードを落として下さい。また、凹凸地、傾斜地では、充分速度を落として下さい。

【守らないと】

転倒事故や、機械の破損をおこす恐れがあります。



### **注意 傾斜地では、惰性運転はしない**

傾斜地での走行は十分注意して行なって下さい。惰性運転などはしないで下さい。

【守らないと】

転倒事故や、機械の破損を起こす恐れがあります。





## 注意 暖機運転中は駐車ブレーキを掛ける

【守らないと】  
グリーンローラが自然に動き出し、事故を引き起こす恐れがあります。

### ・ 作業時の注意事項



## 警告 機械から離れる時は平坦地に置きエンジンを止める

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをして下さい。

【守らないと】  
グリーンローラが動き出し、事故を起こす恐れがあります。



## 警告 異状な振動が出たら、直ちに点検・修理を行う

異状な振動が出たら直ちにエンジンを停止し、原因を調べて、修理して下さい。

【守らないと】  
事故・ケガ・機械の故障を起こす恐れがあります。



## 警告 急旋回・夜間使用をしない

急旋回しないで下さい。また本機は前照灯を装備していませんので、夜間は使用しないで下さい。旋回するときは、十分に速度を落として下さい。

【守らないと】  
事故の恐れがあります。



## 注意 一般道走行禁止

本機は型式認定を受けておりませんので一般道路の走行はできません。

【守らないと】  
道路交通法違反により罰せられる事があります。

## 2. 特徴

本機は誰にでも安易にご使用頂けるよう、前進3段、後進1段変速と、デフロック機構にしてありますので、悪路脱出、旋回は自由自在にできる、グリーン専用の大型自走ローラーです。

下り坂でもブレーキ及びバック付きですので、安心してご使用頂けます。新車の使用時間50時間までの取扱いが大変重要です。この時期以降のグリーンローラーの寿命に大きく影響します。

## 3. 仕様

エンジン	BRIGGS & STRATTON I/C 130G 6.5PS 208cc
変速	前進3段 後進1段
クラッチ方式	ベルトテンション方式
ブレーキ	センターブレーキ
寸法	全長2340mm 全幅1210mm 高さ1200mm ローラー径610mm ローラー幅920mm
重量	自重480kg
デフロック	有

## 4. 新車の扱い

### (1) 最初の50時間までの取扱い

重作業、急発進、急ブレーキなどは避け、ならし運転をしましょう。無理な作業をしますと、磨耗を早めます。

### (2) 最初50時間目の手入れ

エンジンオイルを交換して下さい。詳細は定期の点検・調整の項をご参照下さい。

### (3) 作業する前に

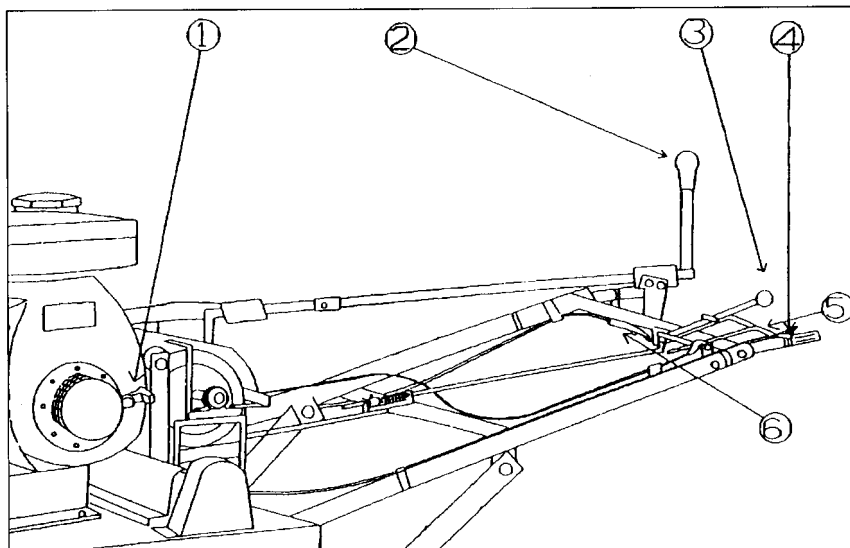
アイドルング（無負荷、低速回転）で暖機運転を行いましょう。

### (4) 製造番号を控えて下さい。

製造番号は部品の注文などに必要ですから控えておきましょう。

## 5. 運転

### 5-1 各部の名称



番号	名称
1	リコイルスターター
2	チェンジレバー
3	クラッチレバー
4	スロットルレバー
5	ブレーキレバー
6	デフロックレバー

### 5-2 エンジンスタート、ストップ

#### (1) スタート

まず、チェンジレバーがニュートラルの位置を確認して、ブレーキレバーをロックして下さい。

④スロットルレバーを始動位置まで引き、①リコイルスターターを引くことによって、エンジンがかかります。かかりにくい時は、エンジン部のチョークレバーを引いてリコイルスターターを引いて下さい。エンジンがかかった後は、チョークレバーを元に戻します。

#### (2) ストップ

④スロットルレバーを低速位置まで戻し、エンジン前部にある黒い停止スイッチをエンジンが停止するまで、押し続けます。

### 5-3 発進方法

- (1) エンジンスタート後、しばらく暖機運転させます。
- (2) ③チェンジレバーを1～3速のどちらかを選択して入れて下さい。その時チェンジが入りにくい時は、  
⑤ブレーキレバーを解除して機械を前後に少しずらします。そうすることによって、ギヤーが入りやすくなります。
- (3) ⑤ブレーキを解除します。
- (4) ②クラッチレバーを手前に引くと、本機が動き始めます。この時、アクセルレバーを引きすぎると急発進しますので、ご注意下さい。

### 5-4 作業手順

- (1) 本機を作業場まで自走させるか、牽引台車に乗せて移動させます。
- (2) 作業速度は1速でします。
- (3) 悪路でローラーが片滑りした場合、⑥デフロックレバーを握り、作動を止めて作業をして下さい。
- (4) ターンする場合、ハンドルを上上げて後ローラーを浮かして行って下さい。

### 5-5 特殊作業

- (1) 重量の加減は、ローラー内の水量で調整を行って下さい。

### 5-6 作業上での注意

- (1) 高速で作業を行うと、早すぎて転圧の効果があまり得られません。
- (2) 急発進、急停止は機械のハンドルが持ち上がりますので、くれぐれも注意して下さい。
- (3) 凹凸な場所や坂になった所の作業は、ハンドルを取られたりなどして危険ですので十分注意して、行って下さい。なお、坂での作業はスリップをすると転倒する恐れがありますので、直ちに作業を中止して、本機を安全な場所に移動させて下さい。

### 5-7 機械を離れるときの注意

本機を離れる場合、機械を水平に保てる地盤の良い場所に停止させ、ブレーキをロックしローラー部に歯止めをして下さい。エンジンは必ず停止させてください。

## 6. 保守・点検

### 6-1 メンテナンスの注意

- (1) 実施するメンテナンスを熟知して下さい。
- (2) メンテナンスは乾燥したきれいな場所で。行って下さい。
- (3) メンテナンスは、必ず機械の作動を停止して行って下さい。
- (4) 部品は良い状態で、正しく取り付けて下さい。
- (5) 損傷部品は直ちに修理、交換して下さい。
- (6) 磨耗損傷部品は、交換して下さい。
- (7) ごみや、グリス、オイルの付着は取除いて下さい。
- (8) 電気系統のメンテナンスをする場合、バッテリーのマイナス線を外して下さい。(本機はリコイルスタートなので、関係ありません)

### 6-2 始業点検

1	前日使用の異常箇所
2	オイル量の点検・補給
3	燃料の点検・補給
4	エアクリーナーエレメントの点検洗浄
5	リコイルスターターひもの緩み点検
6	各Vベルトの張り具合点検、調整
7	各チェーンの張り具合点検、調整
8	ブレーキのかかり具合、調整
9	デフロックのかかり具合、調整
10	各部、ボルト、ナット、ピン類の緩み点検、調整
11	各部の給油脂状態
12	電気系統の点検

### 定期点検

メンテナンス	6H	50H	100H	200H	300H	500H	その他
初期エンジンオイル	●						
エンジンオイル	○	●					
クリーナーエレメント	○			●			
ミッションオイル	○					●	
走行用Vベルト	○			●			
ローラーチェーン	○						△
各チェーン	○						△
各ベアリング	○						△
各ボルト、ナット	○						
各部給油脂	○						

○＝点検・調整・補給・清掃

●＝交換

△＝オーバーホール時点検、交換

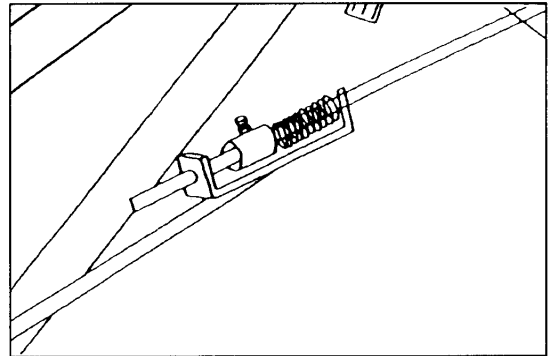
エンジンに関しては、エンジンの取扱説明書を参照して下さい。

### 6-3 各部の調整方法

#### (1) 走行テンション調整

図に示してあるテンションスプリングを締め付けるように、カラーのボルトを緩め、調整する。

クラッチを入れてVベルトの丁度良い張り具合のところに設定して下さい。



#### (2) ブレーキ調整

ブレーキ調整はワイヤー取付部のインナーのところで調整して下さい。

あまりワイヤーをしめると、ブレーキがブレーキレバー解除の状態でも効いてしまいますので、注意して下さい。なお、ワイヤー調整してもブレーキの効きが悪い場合、ブレーキドラムの中のブレーキシューを交換して下さい。

### 6-4 長期保管時の注意

(1) 長期使用しない場合、キャブレター内のガソリンをすべて抜き取って下さい。ガソリンが腐敗した場合、キャブレターを交換しないとエンジンがかからないことがあります。

(2) なるべく各部の給油脂を行っておいて下さい。